

安全管理体制

社員と経営層が積極的にコミュニケーションを取ることで、安全意識の共有・向上に努めています。
また、社長を最高責任者とする安全管理体制を確立しています。



社員と経営層とのコミュニケーション

役員及び部長が、直接社員とコミュニケーションを取ることで、安全意識の共有・向上に努めています。

現業職場への巡視

夏季の安全輸送推進運動と年末年始の輸送等に関する安全総点検では、社長が最高責任者となっており、輸送の安全の確保についての取組等を確認するとともに、直接現場を巡視して社員を激励しています。



年末年始の輸送等に関する安全総点検



夏季の安全輸送推進運動

チームメトロミーティング

役員及び部長が社員と課題をディスカッション形式で議論し、相互理解を深めることで、安全意識の共有・向上を図っています。
平成28年度は117回実施しました。



チームメトロミーティング

訓練への参加

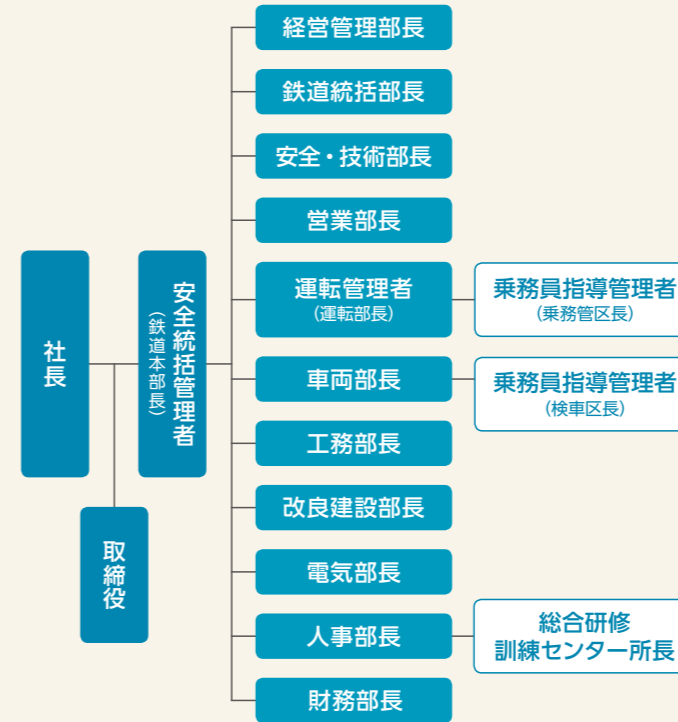
役員及び社員が参加する異常時総合想定訓練をはじめ、関係部門が横断的に復旧処置に関わる訓練を行うことで、お客様の安全確保に努めています。



異常時総合想定訓練

安全の確保に係る体制

社長を最高責任者として、安全統括管理者である鉄道本部長をはじめとする各管理者等の責務を明確にして、安全管理体制を構築しています。



主な管理者等とその責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	鉄道施設、車両及び運転の安全性並びに相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施及び各管理部門の統括管理をする。
運輸管理者	安全で安定した輸送を確保するため、運転関係の係員、施設及び車両を総合的に活用し、運行計画の設定、乗務員と車両の運用、その他運転に関する業務を管理する責務を有する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の維持管理と資質の充足状況に関する定期的な確認及び運輸管理者への報告に関する事項等の業務を行う責務を有する。

平成28年4月現在

講演会等での訓示

毎年開催される安全に係る講演会等において、役員から訓示があります。経営層から社員に直接語りかけることにより、安全意識の共有・向上を図っています。



事故防止オープンセミナー



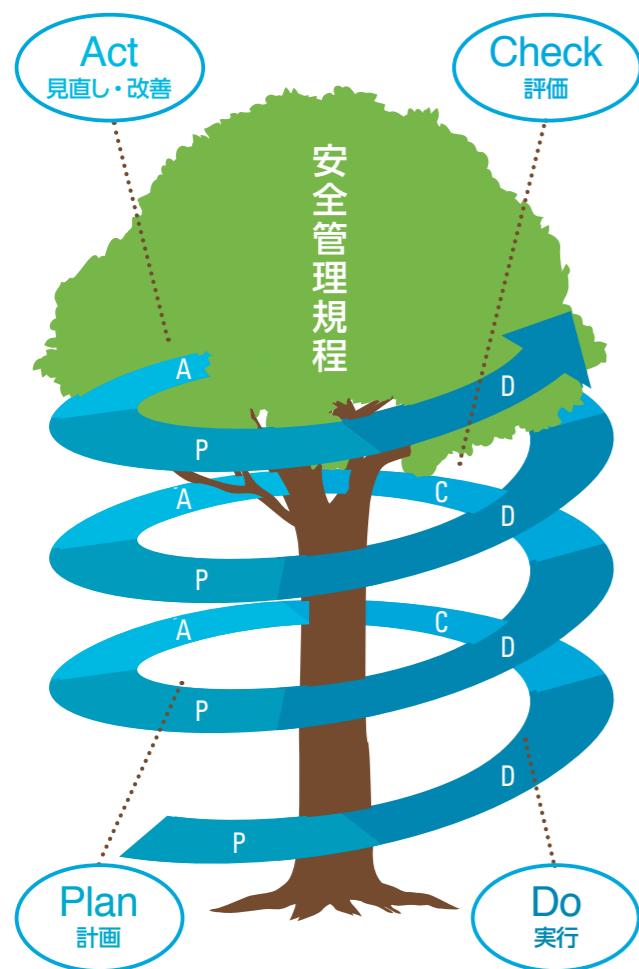
安全管理の方法

PDCAサイクルを運用し、安全情報を共有することで、安全管理体制の見直しを継続的に進めています。

PDCAサイクルで継続的な見直し

輸送の安全の確保に関する計画を策定し(Plan)、これを着実に実行し(Do)、その進捗状況を管理・検証して(Check)、必要な見直し・改善を図っています(Act)。

▶安全管理体制のスパイラルアップ



安全管理体制に係る内部監査(平成28年度)

【実施期間】

■東京メトロ
本社：平成28年9月5日～9月15日(実日数4日間)
現業：平成28年6月28日～8月25日(実日数10日間)

■グループ会社
平成28年9月23日・10月6日

【対象職場】

■東京メトロ：45箇所(本社8箇所、現業37箇所)
■グループ会社：2社

【安全内部監査で確認した優れた取組の主な事例】

- ヒヤリ・ハット情報の報告を定着させるため、係員主導で毎月安全推進プロジェクトが開催され、プロジェクトで議論された内容を点呼時に周知した。また、ヒヤリ・ハット情報、テーマごとの事例及びアンケートによる原因分析などを盛り込んだ安全推進新聞を管区独自で年3回発行し、安全意識の向上を図っていた。
- 故障につながるものに対し、早期に対応・共有する予兆会議を開催し、車両故障の予防及び故障件数の減少につなげていた。
- 実習線を活用して、実際の営業線の状態を想定した部門横断訓練を行い、各部の動きや情報を共有する重要性を認識させるとともに、情報伝達の手法を習得させていた。また、現場力の向上を目指した訓練を実施し、新しい設備を有効に活用していることが確認できた。

◎「安全管理に関する取組状況」についての中間報告

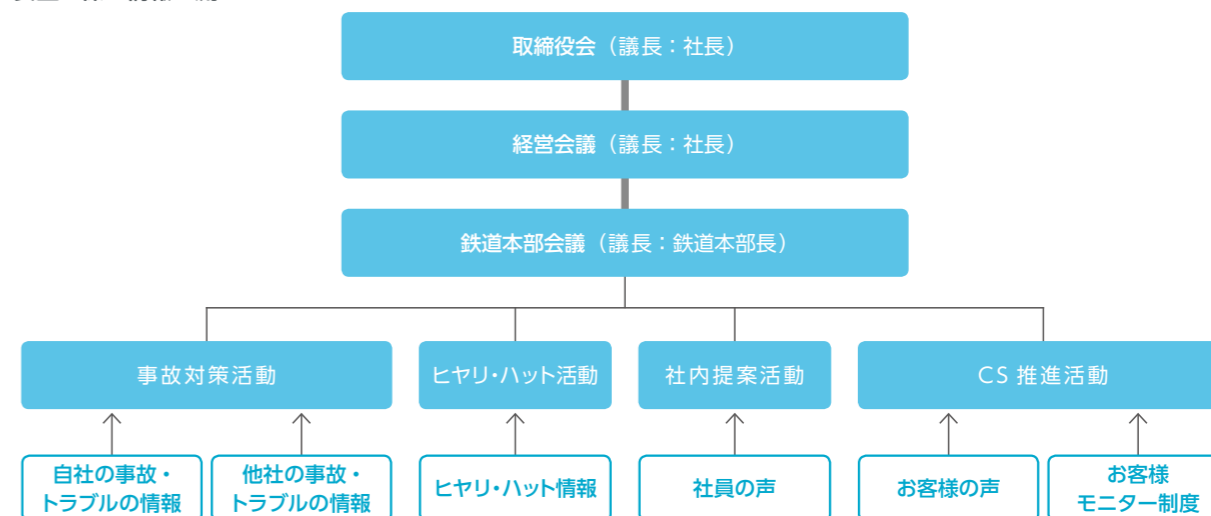
国土交通省による定期的な運輸安全マネジメント評価を受け、安全管理体制の見直しに反映しています。

平成26年度に実施された運輸安全マネジメント評価において、概ね安全管理体制が構築されていることが確認されています。平成28年度については評価にかわる報告書を提出し、次回評価の実施時期を、前回評価から概ね3年度以降とする旨の通知を受けました。

安全情報の管理

輸送の安全の確保に係る取組については、鉄道本部会議の後、経営会議で審議し、特に重要な事項に関しては、取締役会で決定します。各会議体には、お客様の声や現場の情報を受けた各種活動の進捗状況などが定期的に報告され、情報の水平展開と安全管理の徹底に努めています。

▶安全に係る情報の流れ



◎情報の共有化

日々の事故情報等の概要をまとめた総合指令所概況日報や、現業部門から収集されるヒヤリ・ハット情報、新規事業や業務改善についての社内提案などの各種活動の情報を社内イントラネット等に掲載し、全社員がいつでも見ることができ、担当業務や職場内研修に活用しています。

◎東京メトログループ安全委員会の設置

グループ会社と一体となって、安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているか議論、情報共有を行うため、新たに「東京メトログループ安全委員会」の設置を行いました。

お客様の満足度向上への取組

東京メトロでは、お客様満足(CS)向上を推進するための仕組みを構築しています(右図)。

お客様センターに寄せられた「お客様の声」は、速やかに社内の関係部門にフィードバックすることにより、施策の迅速な実施につなげています。

▶CS推進体制

